

R I 第 2 6 8 0 地区インターアクト小委員会

2021-22 年度 第 1 回インターアクト小委員会 議 事 録

日時：2021 年 8 月 8 日 10:00～12:00
東急 R E I ホテル ボールルーム A

1. 開会及び出席確認

吉岡博忠ガバナー、滝澤功治青少年奉仕アドバイザー、阪上栄樹ガバナーエレクト、古川彰治次期代表幹事、三木健義青少年奉仕委員長、白井良夫委員長、大谷秀明副委員長、福山太一副委員長、大原隼人委員、佐藤実路委員、西上俊彦委員、永松潔和委員、飯田美奈子委員、永田哲也委員、初谷仁志委員、松田洋子委員、瀧川祥也委員、久斗譲二委員、朝倉崇瑛委員（以上 19 名）

2. あいさつ

吉岡 博忠ガバナー
滝澤 功治アドバイザー

3. 出席者紹介

4. 委員長挨拶

三木 健義青少年奉仕委員長
白井 良夫インターアクト小委員長

5. 報告事項

大谷 秀明インターアクト小副委員長

※ 前年度の実質的には COVID-19 の影響のため、予定されていた地区年次大会及び顧問教諭との研修会、会長・幹事会等全て中止との判断をした。地区インターアクト小委員会としては、COVID-19 対応のための 2 回の委員会開催となってしまった。その結果各インターアクトクラブの校内活動を中心の活動となり、唯一豊岡総合高等学校インターアクトクラブの海岸清掃・インターアクト米の活動が実施された。個々のインターアクトクラブの活動報告及び今年度活動計画の報告については、別途報告書・計画書参照の事

※ 今年度の第 38 回地区年次大会も中止決定を報告。

※ 企画されていたインターアクトクラブへの幟の作成及び配布が未了となっておりますので、今年度での実施希望の報告がされた。

6. 協議事項

(1) 地区インターアクト及び青少年奉仕委員会の活動について説明と My Rotary の活用について、三木青少年奉仕委員長より説明。

(2) 今年度のインターアクト小委員会の活動について

※ 福山インターアクト副委員長より、各インターアクトクラブの活動の様子と各校の現状及び課題について報告していただき、委員

全員で情報共有をした。やはり各インターアクトクラブ間の交流が難しい状況で、活動が鈍っていることは否めず、オンライン等も利用してなどの交流の必要性を確認。

(3) 提唱クラブとインターアクトクラブとの交流及び連携について

※ 現在の連絡手段の問題点を確認して、担当顧問教諭に確実に連絡、案内が届く方法について検討した。必ずガバナー名で、学校長に向けても発信を徹底。公立校の方が管理職の交替などの事情もあり、やはり提唱クラブの会長・幹事及び青少年奉仕委員長が、学校に出向いて管理職との連携強化について動く必要がある。

各インターアクト小委員へ仲介をすることとした。

※ 神戸須磨 RC・滝川第2インターアクトクラブとの合同例会開催取組についての報告があり、提唱クラブ会員にも周知とインターアクターにもロータリークラブについて理解を高める効果が認められ是非とも、各その他の提唱クラブでも実施に向けてインターアクト小委員会の委員の仲介をすることとした。

※ 前年度からの重点課題である各インターアクトクラブ間の交流の場として会長・幹事・顧問交流会を11月23日(祝)に開催することを決定し、ZOOM等の併用にて全インターアクトクラブの参加も含む内容を次回検討・決定する。(案内文については9月早々の発送を準備する。)

(4) ローターアクトクラブ及びローターアクト委員会との連携について

※ 2022年3月26・27日開催のローターアクト全国研修会に参加協力を確認。ローターアクトとの交流事業としてインターアクト小委員会としても協力する。

(5) 2022年3月5・6日の地区大会のロータリーファミリーの集いにも参加・協力をする。

(6) 新インターアクトクラブ設立についての情報交換について

姫路東 RC が周年事業としてのインターアクトクラブ設立の話がある。

尼崎北 RC からインターアクト小委員の派遣依頼も入ってきている。具体的な依頼があれば委員の派遣する。

(7) その他

※ 危機管理担当委員の選出した。

福山 太一副委員長を危機管理担当委員として決定した。

(議事録作成人 白井 良夫)

以上